向日市文化資料館 令和8年度企画展

むこうし歴史モノ語り

2026（令和8年）
11.3㊋㊗》12.20㊐

京都府向日市は、西日本でもっとも面積が狭い市ですが、コンパクトな市域には、古代の都・長岡京の宮跡、向日丘陵上の乙訓古墳群、戦国時代の物集女城跡、と3つの国史跡のほか、各時代の人びとの足跡が、幾重にも積み重なっています。

1984年に開館した向日市文化資料館は、長岡京跡を常設展示のメインテーマとしてきましたが、展示室の一角にある立体年表コーナーをリニューアルし、新たな歴史資料を展示する企画展を開催いたします。

また本年は、1876（明治9）年7月に京都府下で初の鉄道の駅として開業した向日町駅が、誕生から150年を迎えたことから、企画展の期間にあわせて、向日町駅に関する古い写真や復元模型などの展示も行います。

企画展や向日町駅開業150周年記念展示を通して、西日本一小さな市・向日市に重層する豊かな歴史と文化を、多くの皆さんにご覧いただきたいと思っています。

【関連イベント】

11/28（土） 14:00～15:30（開場は13:30）
文化講演会
「旧石器人が乙訓にやってきた！」
中川和哉さん（(公財)京都府埋蔵文化財調査研究センター副主査）

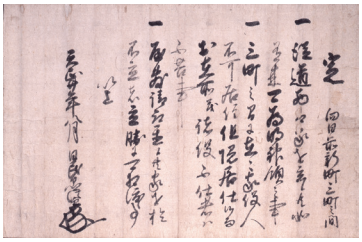
12/13（日） 14:00～15:30（開場は13:30）
日曜談話会
「絵図と古文書でたどる西国街道と向日町」
向日市文化資料館職員

12/19（土） 14:00～16:30（開場は13:30）
ミニシンポジウム
「金箔瓦から考える幻の寺・鶏冠井興隆寺」
①「興隆寺跡出土の金箔瓦を読み解く」
森島康雄さん（(公財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査課調査第1係長）
②「興隆寺の歴史と西国街道・向日町の整備」
玉城玲子（向日市文化資料館館長）
③「文禄の役と向日町・大山崎」
福島克彦さん（大山崎町歴史資料館館長）

いずれも
場　　所：向日市文化資料館2階研修室
定　　員：60名
お申込み：11月７日（土）から向日市文化資料館へ直接、またはお電話（075-931-1182）にてお申し込み下さい。定員に達し次第、締め切ります。


殿長遺跡出土 有茎尖頭器


興隆寺跡出土 金箔瓦


前田玄以定書 天正20年(1592)（葭信幸氏所蔵）


紙本墨書日本書紀（国指定重要文化財、向日神社所蔵）

[表]（右上より時計回りに）
森本遺跡採集 丸木弓・銅鏃(坂下勝美氏所蔵)／山開古墳出土 子持勾玉(京都府立山城郷土資料館所蔵)／鶏冠井遺跡出土 穂つみ具／ 十ヶ坪出土 銅鈴／鴨田遺跡出土 布留式土器／森本遺跡出土 人面土器(京都府立山城郷土資料館所蔵)／寺戸大塚古墳出土 三角縁仏獣鏡（複製、原品は京都大学文学部保管）／物集女城跡出土 土師器皿



開館時間｜10:00～18:00（入館は17:30まで）
休 館 日｜月曜日（休日の場合は直後の平日）
資料整理日（毎月１日。土・日・月の場合は次の平日）
入 館 料｜無料
アクセス｜阪急東向日駅から徒歩12分
JR向日町駅から徒歩20分

併催 向日町駅開業150年記念展示

2026（令和 8）年
11月 3 日㊋㊗～12月20日㊐


1900年前後(明治末期)の向日町駅にて

向日市文化資料館
〒617-0002 京都府向日市寺戸町南垣内40-1
TEL 075-931-1182／FAX 075-931-1121　https://www.city.muko.kyoto.jp/site/shiryokan/